

### 19年度は…

✓ 組合員の声で運営する意識が高まり、**声を聞くツールが多様化**しました！

一方で…

- ✓ ひとつことカードを知ってもらう工夫
- ✓ 集めた声の**分析**
- ✓ 組合員の声を反映したことを**伝える**ことが課題として挙げられました。

そこで

### 20年度は…

- ✓ 組合員の声・実態を取り組みに反映するための**分析**
- ✓ 組合員の声を取り組みに反映したことを組合員に**見える形で伝える**ことを特に大切にしていきたいと思っています！  
これらは、20年度関西北陸ブロック方針にも書いています◎

#### 20年度関西北陸ブロック方針

組合員のありたい姿(1) とともにつくる

実現に向けて①

課題(ア) 組合員の声・実態を取り組みに反映するための分析を行う。

課題(イ) 組合員の声を取り組みに反映したことを組合員に見える形で伝える。

実現に向けて②

課題(ア) ひとつことカードの投稿数・回答数を増やして組合員の自発的な参加につなげる。

## ひとつことカード4つの段階

20年度関西北陸ブロックでは、ひとつことカードに取り組むことを大切に、伝えていきます！

そこで、右図のような「ひとつことカードの4つの段階」という捉え方を提案します。この4つの段階を意識してひとつことカードに取り組むことで、**組合員が生協の魅力や価値を実感し、自発的・継続的な運営参加につながる**と考えています！

特に、19年度の課題に挙げた「**分析**」「**伝える**」のプロセスに重点を置き、取り組みをすすめましょう！



## 集約 工夫して声を集めよう

- ✓ 時期や季節に合わせた企画と絡める。
- ✓ 組合員の目につきやすくする。



**大阪経済大学生協**  
「ハロウィンイベント」  
認知度が低いことから、  
まずはハロウィン企画と  
同時に投稿する体験をし  
てもらいました！

## 分析 集約した声を分析

### 重点

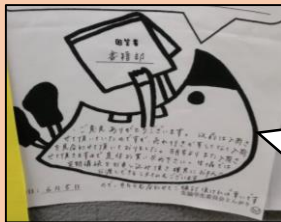
- ✓ 理事会などの場で学生と職員と一緒に分析する機会を持つ。
- ✓ 投稿数だけでなく、内容も分析する。



**京都府立医科大学・  
府立大学生協**  
組織委員会内でひと  
ことカードの分析を  
行いました！

## 反映 声を受けとめる

- ✓ 必ずしも組合員の声を「実現」させることが重要ではない。
- ✓ 実現不可能な場合でも、質問や代替案を返事書き、ニーズの深堀り・提案をする。  
⇒ 組合員に寄り添った回答を！

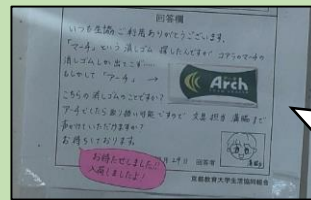


**滋賀県立大学生協**  
投稿に対してしっかり  
考えてくれていること  
が伝わる、丁寧な回答  
です！

## 伝える 反映を実感へ

### 重点

- ✓ 要望が実現したことを組合員に見える形で伝える。  
⇒ 自分や他の組合員の声が生協に届いていることを実感  
⇒ 生協の良さ(=組合員の声によって生協がつけられていること)を実感  
⇒ 継続的な運営参加につながる！



**京都教育大学生協**  
ひとことカードの要  
望が実現したことを  
分かりやすく伝えて  
います！

## 1～3月期のポイント

1～3月期は、以下のポイントを意識してひとことカードの取り組みをすすめていきましょう！

- ✓ 4つの段階を踏まえて、**ひとことカードに取り組んでいるかどうかを確認**しましょう。
- ✓ 学生と職員と一緒に理事会などの場でひとことカードを**分析**し、**組合員の現状を把握**しましょう。  
→ 現状を踏まえた**方針策定につながります**。
- ✓ 職員も学生も**ひとことカードの取り組みの意義**を再確認しましょう。
- ✓ 新学期の説明会や店舗見学の場で、新入生に向けてひとことカードの仕組みについて紹介しましょう。



ご質問や詳しく知りたい点があれば、担当事務局までご連絡ください◎

**関西北陸ブロック学生事務局  
ともにつくる内局**  
京滋・奈良エリア：橘、山崎  
大兵和エリア：永江、辻  
北陸エリア：加藤